

大学図書館問題研究会 京 都

〒607 京都市山科区大宅山田町34 京都橋女子大学図書館 小林倫道気付
(Tel) 075-574-4118 (Fax) 075-574-4124

第19回京都支部総会に参加して

井上 雅人

ひさしぶりに大図研の支部総会に参加しました。というのも、とかく内部にこもりがちといわれている立命を支え、かつ京都支部の事務局長という重責を果してきた松原氏が突然、配転することになり、代わって私が支部委員を勤めることになったからです。以下では、何年ぶりかで参加した総会の感想を少しばかりし述べさせていただきます。

総会ではまず同志社大学の竹本氏による95年度の活動総括と96年度の方針の提案がなされ、続いて各大学の現状報告と討論がおこなわれました。最初に紹介された京大の柴田さんのDDC分類に関する労作にはとても驚かされましたが、同時に私の職場の現状に照らして合わせてみて、何か複雑な気がしました。本来ならば私の業務(洋書目録)と密接な関連のあるお仕事でもあり、もっと興味がかかりたてられてもよい貴重な報告なのですが、どうもそれだけでは言い尽くせないものを感じたのです。それはおそらく、現在、立命で稼働している新目録システムがなかなか軌道に乗らず、日々、ストレスに悩まされている私の心境なのかもしれません。数々の文献に紹介されているように、コンピュータや情報

《支部総会開催さる》

7月2日(火)、第19回京都支部総会が京大~~会~~館にて開催されました。10数名の参加と、やや寂しい総会の感は否めませんでしたが、その分、実質の濃い討論が交わされました。

その総会の模様を、支部委員のニューフェイス、立命の井上さんにご自身の抱負も含めて紹介して頂きました。

通信技術のめざましい発達には図書館の仕事に大きな影響を与えてきました。私が目録業務にかかわるようになって8年ほどになりますが、カード目録からオンライン目録へ、そしてインターネットというように、その間の業務スタイルのめまぐるしい変化には今さらながら驚かされます。現在、立命館で稼働している(開発していると言った方が正確か?)新図書館システムも基本的には利用者の要求に沿って、情報技術の導入がはかられていると考えますが、何かが抜け落ちているような気がしてなりません。今、立命館では8年前には考えられなかったほど情報基盤の整備が進み、図書館の施設、組織の大幅な変革が精力的に取り組まれています。その中で抜け落ちているもの、それは総会議案書の冒頭で述べられている「求める人に求める資料を」より効果的に提供するため「資料に強い」「主題知識や目録知識の豊富」な図書館職員づくりではないだろうか。大学図書館の将来像が

尚、新年度支部役員の顔ぶれは以下の通りです。任務分担は決定次第報告させていただきます。

【支部委員】

井上雅人（立命館大学）
 大館和郎（京都学園大学）
 川北恵美子（京大附属図）
 小林倫道（京都橘女子大学）
 篠原俊夫（京大法学部）
 竹本文夫（元同志社大学）
 堤美智子（京大総人）
 中島スエ子（京大工学部）

【会計監査】

末益尚文（京大教育学部）
 福井京子（京大教育学部）

【全国委員】

篠原俊夫（京大法学部）

きびしく問われている今、このことをもって深める必要がある、と思いました。

さらに議案書の討議では、国立大学図書館の現状や文部省の動き等が出されましたが、大図研の活動を通じて多くの仲間を迎えるための方策、若い図書館職員をどうみるのか、職場を越えた交流をもっと強化する必要性等、に議論が集中しました。このような討論を通じて、私がこれまで見聞きしてきた大図研の議論とは少し趣を異にした、新たな発展の方向性が見えた総会であったように思います。

私の職場、立命館を振り返りますと、激しい職場配転により、ずいぶん会員も少なくなりました。班の例会もここ数年開催されていません。とにかくまず、この総会の論議を立命にもちかえり、班で議論しようと思っています。秋には昨年を引き続いて、立命でインターネットをテーマにした大図研大学も開催されます。こうした取り組みを足がかりに例会を復活させ、大図研の活動を多くの図書館員にアピールしていこうと思っています。

（いのうえ・まさと／立命館大学図書館）

●前年度決算および今年度予算

1995年度決算（1995.7～1996.6）

総 収 入	総 支 出	差 引 残 高
356,458	207,602	148,856

収入の部

項 目	予 算	決 算	増 減	備 考
繰 越 金	105,639	105,639	0	
1995年度会費	170,000	166,600	△3,400	98名
1994年度会費	6,800	8,500	1,700	5名
1993年度会費	0	1,700	1,700	1名
支部活動援助金	10,000	0	△10,000	
京都研究集会剰余金	0	42,000	42,000	
雑 収 入	0	32,019	32,019	カンパ、寄付金、利息
合 計	292,439	356,458	64,019	

支出の部

項 目	予 算	決 算	増 減	備 考
会 報	60,000	44,900	15,100	
(内訳) 印刷費 郵送費 通信費 等	25,000 29,000 6,000	8,500 32,820 3,580	16,500 Δ 3,820 2,420	
研究交流集会費	50,000	30,807	19,193	
(内訳) 新春合同支部例会 支部総会 京都研究集会	20,000 10,000 20,000	23,043 7,764 0	Δ 3,043 2,236 20,000	
全国委員会参加補助	30,000	30,000	0	
特別事業基金繰入	50,000	100,000	Δ50,000	
事 務 費	4,000	1,895	2,105	
予 備 費	97,439	0	97,439	
雑 費	1,000	0	1,000	
合 計	292,439	207,602	84,837	

1996年度予算(1996.7~1997.6)

収入の部

項 目	予 算	備 考
繰 越 金	148,856	
1996年度会費	153,000	90名
前年度未納会費	17,000	10名
支部活動援助金	10,000	1996年度会費完納要
合 計	328,856	

支出の部

項 目	予 算	備 考
会 報	60,000	
(内訳) 印刷費 郵送費 通信費 等	20,000 34,000 6,000	
研究交流集会費	50,000	
(内訳) 新春合同支部例会 支部総会 京都研究集会	20,000 10,000 20,000	
全国委員会参加補助	30,000	10,000×3
特別事業基金繰入	100,000	

事務費	4,000	
予備費	83,856	
雑費	1,000	
合計	328,856	

特別事業基金 決算

項目	予算	決算
繰越金	500,000	500,000
1995年度繰入	50,000	100,000
合計	550,000	600,000

特別事業基金 予算

項目	予算
繰越金	600,000
1996年度繰入	100,000
合計	700,000

会計監査報告

現金・預金通帳・領収書等の管理は適正に行われていました。
 なお、次の二つの項目については、改善することを申し添えます。

- (1) 一般会計が30万円程度の規模であるのに、特別事業基金決算が60万円となった現在、改めて、この基金の運用を会員に提案し、その同意を得ることが必要である。
- (2) 支部活動援助金10,000円の交付が100%会費納入という条件では組織活動を援助する資金とは言えない。せめて、60または80%に改定すべきではないか。これでは、大規模支部は半永久的に交付されない資金となるだろう。

1996年7月2日 竹村 心
 福井京子

目次	支部総会に参加して(井上雅人)・……1頁 前年度決算・今年度予算・……2頁 パソコン通信入門講座②(小林倫道)・…5頁 大図研京都数珠つなぎ⑦(松島久)・…8頁
支部報に関するご意見は最寄の支部委員、または編集気付(京都橘女子大学図書館☎075-574-4118 <FAX・4124>NIFTY-Serve:PXK01651小林)まで。	

はあ〜いお待たせ、第2回です。なにはともあれ、「パソ通」にはコンピュータが必要です。で、どうするか。

① 最新型のパソコンを買う

ベストチョイスはやっぱり最新の機器を買うことです。新しい機械といっても「ピンキリ」ですが、Windows95が動くものであればとりあえずはOKです。他にMacintoshという選択肢もありますが、このへんは好みなので知人や店の人によく相談しましょう。

新しければ何が違うのかというと、一言で言えば「Windows95が使える」「インターネットが快適に行える」の2点が決め手です。インターネットはマルチメディア通信ですから、機械にもそれなりのパワーが必要です。

処理能力を見るポイントに「CPU」と「メモリー」があります。CPUは「頭」、メモリーは「机」と考えて下さい。頭がいいに超したことはありませんし、机も広い方が仕事がやりやすいです。CPUは「ペンティアム」という種類のやつで、速度は「100メガヘルツ以上」というのが最近の常識です。メモリーは「16メガ」が最低線といえるでしょう。数字の意味については省略しますが、ここに書いたより低いものは敬遠したほうが無難です(後で増設できる場合もあります)。

ソフトやデータを格納するハードディスクは1ギガバイトが最近の標準。文書やデータベースだけで画像を扱わないなら800メガでも十分です。CD-ROMドライブは必須でしょう。デスクトップ型、ノート型の選択も悩みの種ですが、場所との相談で画面が大きいのが一般的にはお勧めです(逆に大きすぎると目が疲れる人もいます)。携帯性を重視するのもほどほどにしましょう。現時点で必要性がそんなにあるとは思えませんし、第一、あのバッテリーの重さと消耗の早さが許せません。太陽電池とかダイナモ式(自転車なんかについての発電機)のパソコン、誰か作ってくれませんかね。

おっと、本講座のメインは「パソコン通信」でした。当然、これらの最新機器なら、十分快適に行うことが出来ます。つまり「将来インターネットもやってみたい」ならこれしかないし、そうでなくともこれからパソコンを買う人には当然の選択です。値段は、ざっと20万円前後からというところですか。メーカー間の優劣や拡張性の違いは余りありませんので、パソコン雑誌の試用レポートや友人の話を参考にしながら、店で触ってみて自分の感性で選びましょう。

(モデムと電話回線)

通信になくてはならない機械に「モデム」があります。通信は電話回線を使って行うので、電話のアナログ音声信号とコンピュータのデジタル信号とを相互変換するのがこの機械です。箱型から超薄型(PCカードといってパソコンの専用ソケットに差し込む)等があり、最近のパソコンには内蔵している場合も多いですが、もしそうでなければ別途用意する必要があります。モデムにも処理速度の違いがあつて、現在は28800bpsのが標準です(数字が大きい程早い)。しかしこれもインターネットを前提にしての話で、パソコン通信だけなら2400bpsなどという超旧式の機械でも十分使えます(28800が新幹線ならこれは自転車ぐらい)。

それから電話線に関して若干の注意が要ります。キャッチホンや、一定時間ごとにピツと警告音が入るオフィスの電話等、通話の途中で別の信号が割り込むものは通信には不向きです。データが壊れて通信が途切れてしまうからです(キャッチホンは最近、改良型が出たようです)。外線発信(ゼロ発信等)については問題ありません。近頃はISDNで回線もデジタル化が進み、コンピュータ通信にはますます都合良くなりつつあります(パソ通には普通の回線でも十分です)。ISDNではモデムではなくターミナルアダプタという機械が必要ですので、もし家の電話がISDNなら、店の人に相談して下さい。

② 旧式のパソコン

ここでいう旧式とは、Windows95 はダメだが先代の Windows3.1 なら何とか作動する少し前のパソコン、または Windows が全く動かない前世代のもの、をいいます。旧式とは言っても、パソコン通信に限っていえば至極快適に動かすことができます。実際、私の職場では大昔の国産パソコン機をパソコン専用にして気持ちよく使っていますし、家でもわざわざ Windows3.1 から旧モード（「DOS環境」って言うんだす）に切り替えて使っています。キー操作に慣れていて、Windows のマウス操作より勝手がいいからです。ただ、今からパソコンをやろうと思っている人には、古いパソコンは不向きかも知れません。モデムが必要なのは①の場合と同じです。

むかし買って結局使っていない古いパソコンが眠っている、新しい機械に買い替えたい人がもらい手を探している、大型ゴミで拾った、等の哀れなパソコンに出会ったら、み仏の慈悲の手を差し伸べましょう。この選択は、あくまでも「タダで余っている機械があるなら十分使えるよ」です。間違っても中古で売っているそのテのものに手を出してはいけません。「安もん買いのゼニ失い」になるだけです。

③ ワープロ

「パソコン」といっても、パソコンでしかできないわけではありません。今ではほとんどの人が持つワープロ、これだって立派なコンピュータなんです。近頃はワープロも多機能が売りで、ほとんどの機種に「通信機能」がついています。そいつを使えば全く同じことができるわけ。

「ワープロ通信」の長所は、機械にソフトやマニュアルがバックされていて取っつきやすいこと。短所は、やりとりできるのがテキスト（文字）データだけで、ソフト等のやりとりができないこと。それに、将来インターネットに挑戦したくなくてもワープロ専用機ですから無理です（そのうちインターネット機能つきワープロなんてのは出てくるかも知れませんが、いや、もう出てくるかな？）。

ワープロでも電子メールや掲示板、会議室、データベース等のパソコンの世界は十分楽しむことができます。やや不安なのは、文書処理容量がやや小さいことぐらいでしょうか。通信記録（表示した画面はすべて文書として保存することができる）は結構大きくなりましたから。

ワープロ通信の場合もモデムが必要なのは同じです。ワープロに内蔵されている場合もありますが、なければ別途購入しなければなりません。モデム本体は転用することも可能ですが、接続ケーブルは専用パーツの場合も多いですから、よく考えて投資しましょう。

ワープロ通信は「どうしてもワープロしか使いたくない人」にはうってつけです。機能的にはパソコンよりもやや縮小版です。

④ なし

「えっ、機械なしでどうやってやるというんだっ。テレパシーでも使うというのかね？ そうか。君はモデム内蔵型サイボーグだったんだな」。いやいや、違います。他人のパソコンをちょっと拝借するんです。

通信ネットに入るには利用者登録が必要です。それで自分のIDナンバーとパスワードを発行してもらい、それらがなければホスト・コンピュータと通信できない仕組みになっています。パスワードは銀行の暗証番号と同じで、自分のIDが人に悪用されるのを防いでいます。

通信ソフトで自動接続の設定をするときに、IDやパスワードの部分を手入力するように空けておけば、1台の機械を複数人で使うことが可能なわけです。人間関係がより親密であれば（恋人とか）ID共用も含めた更にきわどい使い回しも可能です（2人の仲がギクシャクしだしたら早めにパスワード変更手続きをとりましょう）。いずれにしても通信中の電話代はパソコンがある家にかかるのでイザコザのないようにね。

自分のパソコンが急に壊れる事だってあります。IDとパスワードさえあれば「ちょっと貸して」と機械を利かし、いつでもネットに入れることを覚えておきましょう。いつも使っている通信ソフトをフロッピーにバックアップして持ち歩く手もあります。

では最後に今回の標語。☺

ネット泳ぐにや機械は要らぬ、利用者IDあればいい。

ともかくにもパソ通ネットの加入手続をして、ネットワークID (+パスワード) を入手しましょう。えてして「〇×手続き」と聞くと面倒そうでついつい「機械を買ってからでいいや」と後回しにするもんです。そうやって「パソコンで一番遊びたい時期」を逸しては元も子も無くなります。ここは逆転の発想で、先に入会手続きをしてしまいましょう。その方法と、通信ソフト等については次回。

本講座に関するご意見は NIFTY-Serve:PXK01651まで。 \ (^o^)/
(こばやし・ともみち/京都橋女子大学図書館)

..... (図次ページより)

(主題研究)

趣味は、主題研究を兼ねてサイエンスやテクノロジーの本を読むことです。特に、高度な内容について十分なページを費やしわかりやすく書かれた本、読み物として面白くまた著者独自の見解を展開したものが好きです。最近読んだ本でこの条件を満たし、さらに主題研究に役立つような本を次に紹介します。それぞれの分野の高校卒業から大学初年級程度の知識で読める本です。

<数学分野> 「数学 - その形式と機能」 S. マックレーン著 森北出版

<物理学分野など> 「時間の矢 生命の矢」 ピーター・コブニー、
ロジャー・ハイフィールド著 草思社

<生物学分野> 「生命の塵」 クリスチャン・ド・デューブ著 翔泳社

当館は平成6年度に大規模な増改築を行い、私が着任したころリニューアルオープンしました。そのとたんに入館者がリニューアル前の1.7倍に増え、また利用の質の方も利用者教育の効果か高度化して来ています。本を借りたり自習をしたりするだけの利用から、レファレンスサービスをはじめとする図書館の種々の機能を活用する利用へと。主題研究の必要性もここにあります。

(広島カーブ)

もう一つの趣味です。素質はあるが無名の選手を独自のノウハウで鍛え上げ、金力と人気でスター選手をそろえたG球団と互角に戦う、そんなところが魅力です。館員の知恵と経営努力で、予算も人員も潤沢な大規模館並みのサービスを実現しようとする当館と何か通じるころがあります。カーブが優勝したらぜひ私に声をかけてください。ボリューム満点の広島風お好み焼きをごちそうします。

次は当館雑誌情報係長の久保佳典さんです。工織大2年生の私は、当館のカルチャーを紹介するには力量不足でした。ぜひとも生え抜きの館員の方にお一人は登場してもらわなければなりません。また久保さんは私の前任者で、いつも難しいレファレンスなど助けていただいています。そんなわけで次回はリリーフエース登板です。 以上

「数珠つなぎ」のルール

①内容は硬軟自由。②原稿量も1ページ程度以上で自由。③執筆者には次回執筆者を指名する義務があります。④指名された人はもちろん拒否権なし。

